



3月 園だより

令和8年3月2日
第三ひもんや保育園園長

寒さの中にも、少しずつ春の暖かい日差しが感じられるようになりました。いよいよ、今年度も残りわずかとなり、この一年で大きく成長した子どもたちの姿を嬉しく、頼もしく感じています。

事務所から2階に上がる階段を上り下りをしている子どもたちの姿を1年間見守ってきました。保育士に抱っこされていた0歳児は、自分で四つ這いで上り下りができるようになり、四つ這いで慎重に上り下りをしていた1歳児は、高這いになり素早く動いています。2歳児は手すりをつかまり立って上り下りができるようになりました。1階にたどり着いた子どもたちは達成感に満ちた表情をしています。その後、外に行く準備をしていたので「行ってらっしゃい」と声をかけると「行ってきまーす」と元気な声とともにでかけていきました。まだ、言葉にならない0歳児も手を振って応えてくれました。一場面ではありますが子どもたちの成長していく過程を見ることができ嬉しく思っています。幼児クラスの子どもたちも、様々な活動や行事を経験し一回り大きくなったと感じています。

今年度も保育へのご理解、ご協力ありがとうございました。4月からは園名はそのままではありますが、クラス名は新しくなりひもんや保育園の子どもたちと一緒に過ごします。新しい保育園として新たな職員と力を合わせて子どもたちの成長に携わっていきたいと思います。

3月の予定

卒園式（5歳児）
幼児お別れ遠足（3・4・5歳児）
お別れ遠足（5歳児）
お別れ会
身体計測・避難訓練



子どもとの関わりを通して～

2歳児クラスの子がテラスの花壇で土を掘り、何かを探していました。「何を探しているの」と聞いてみると「かぶと虫の幼虫だよ」と教えてくれました。すでに1匹見つけていたようで、お皿にいる幼虫も見せてくれ「先生も一緒に探そう」と誘ってくれました。一緒に探していると1歳児クラスの子もやってきて様子を伺っていました。2歳児クラスの子がその姿に気が付き、自分がいた場所から少し横に移動して一緒に探せるようにしてくれたり、お皿に入っている幼虫を見せてくれたりしていました。その姿がとても微笑ましく、相手を思う気持ちが育っているのだなと嬉しく感じた場面でした。



こんなに大きくなりました



ありんこ組

歩くことが安定し、しっかり歩いて公園まで行けるようになりました。園庭では、そうさん滑り台に挑戦し腕や足にグッと力を入れ丸太の斜面を上って行きます。腹ばいで滑ると満足そうな表情をして、また丸太を上り繰り返し楽しんでいきます。



ちょうちょ組

友達への興味が広がり、一緒に遊ぼうとする姿が増えてきました。保育士が段ボールでバスを作ると、帽子を被った子が「出発しますよ」と運転手になり、もう一人の子は「乗せてください」とお客さんになっています。保育士や友達と身近なイメージ遊びをする中で簡単なやりとりも楽しんでいきます。



てんとうむし組

簡単なルールのある遊びを友達や保育士と一緒に楽しんでいきます。“あぶくたった”では子ども同士で手を繋いで歌いながら回ったり、声の掛け合いも覚えて遊んでいます。最後に保育士に追いかけてられるところでは一生懸命逃げる姿がとても可愛らしいです。遊びを通して子ども同士の関わりが増えてきています。



みつばち組

保育士や友達とのやり取りを通してルールやイメージを理解し、鬼ごっこやメモリーカード、ごっこ遊びなどを繰り返し楽しむ姿が増えました。保育士に見守られながら遊びや生活の中で、友達に認めてもらえる嬉しさや安心が自信に繋がり、関わりがより親密になってきています。



とんぼ組

かぶとむし組がカプラで遊んでいる姿をよく見てきたとんぼ組。カプラを使ってタワーを作っていると「僕も作る」「私も」と友達が集まり、慎重に積み上げて自分達の身長よりも大きなタワーを作りあげることが出来ました。友達とやり方を教え合ったり、協力して大きなものを作りあげることが楽しめるようになってきました。



かぶとむし組

異年齢の関わりを楽しんでできました。年齢に合わせた関わりが自然にできるようになってきています。1歳児がタイヤで遊んでいると「ぼくたちがひっぱってあげるよ」とそりのように引いていました。小さい子の歓声に満足そうです。相手がとんぼさんのときは「こうやって引くといいよ」とやり方を教えて一緒にできるようにしてあげています。保育園で一番大きなクラスだという自覚があり、園で様々な役割を担うことに喜びを感じています。

